

# 木津川市

第16号

## 議会だより



本会議	2～4	清掃センター建設特別委員会	11
補正予算特別委員会	5	組合議会報告	11・12
予算特別委員会	6・7	一般質問	13～23
常任委員会	8～10	わたしの意見	24

輝く未来へ  
(上狛小学校卒業式)

# 最大の規模

3月定例会は、2月22日から3月17日までの24日間の会期で開催した。同意1件・議案33件・発議2件を審議し、原案どおりすべて同意・可決した。

## 23年度予算237億円

23年度一般会計当初予算案は、市長選挙を目前に控えていることから、人件費などの経常経費や継続事業を中心とする骨格予算となった。

民生費などの伸びで、

前年度に比べて6億39

00万円(2・8%増)

増の過去最大の237億

円となった。しかし、民

生費の伸びを除くと、対

前年度1・5%の減とな

った。

市の重点施策の子育て

支援、教育環境整備、健

康・予防対策(子宮頸がん

ワクチン接種、ヒブワ

クチンなど)、懸案の新清

掃センター整備関連、電

算システム変更委託料、

国民文化祭の関連イベン

トなどを予算に組み入れ

た。

収入では、人口増加に

ともない市税が5千4百  
万円増え、交付税も人口  
増にともない8億5千万  
円増えた。公共施設等整  
備基金を3億5千万円、  
財政調整基金を4千4百  
万円を繰り入れた。

### 反対討論

高すぎる国保税を下げ、  
遅れている子どもの医療  
費の無料制度を拡充すべ  
き。不必要な同和予算も  
ある。今こそ、くらしと  
営業を支える予算が必要。

宮嶋 良造

骨格的予算に係わらず  
本年度の予算を上回り、  
継続的な事業に健康保険  
者の負担は限界、改選時  
期に責任をもって賛成で  
きない予算編成である。

梶田 和良

### 賛成討論

今回の予算は、選挙を  
まぢかに控えた骨格予算。  
主な内容は、人件費や扶  
助費などの義務的経費や、  
継続費である。選挙後に  
新しい肉付予算を望む。

倉 克伊

### 賛成多数で可決

(賛成20人・反対5人)

(詳細は6・7ページに)

## 保育定員を 150人増

待機児童解消策として  
やましろ保育園の分園  
(30人)を設置する。

なお、民間なごみ保  
育園(120人)と合わせ

て市内の保育園定員が1

50人増加となった。

また、休園中の当尾保  
育園は廃園する。

全員賛成で可決

## ワード

### 「骨格予算」とは

年間予算として政策経費を除き、義務的経費を主体に必要な最小限の収支のみ計上する予算。

### 「肉付け予算」とは

骨格予算の事由が解消後、政策的経費や新規事業費等を加える修正予算。



待機児童の解消へ

# 骨格予算でも



笑顔いっぱいの児童クラブ

## 環境アセスの手続き決まる

新清掃センター施設整備に向け、周辺地域の生活環境影響調査（環境アセスメント）を実施する。

計画書の縦覧、意見書提出の機会をもうけるなどの手続きを定めるもの。

計画書の縦覧は5月1カ月間、調査結果の縦覧は24年秋ごろに1カ月間行う。

場所は市役所本庁。

概要版をつくり、ホームページと広報で紹介する。

全員賛成で可決

## ひとり親家庭の 学童保育使用料 減免を拡大

母子家庭で認められている放課後児童クラブ（学童保育）の使用料減免をすべての「ひとり親家庭」に拡大するもの。

具体的には、父子家庭、祖父・祖母家庭も対象に加える。  
昨年、児童扶養手当が父子家庭へも拡大されたことに対応した。

全員賛成で可決

## 当尾小学校 24年廃止決まる

児童数の減少にともない、当尾小学校を廃止して南加茂台小学校に統合する。そのために、学校設置条例を改正するもの。統合時期は、24年4月1日。

今年1年間は、両校児童の交流活動を行い、スクールバスを具体化して統合準備を進める。

全員賛成で可決

## 指定管理者を 継続

指定期間の満了にともない、山城福祉センターの指定管理者を選定した。結果、再度、市社会福祉協議会に決まった。ただし、耐震面で課題があるため、指定期間は1カ年とした。

また、期間満了により、山城町森林公園も指定管理者を公募し、山城町森林組合が再度決まった。期間は3カ年。

2件とも全員賛成で可決



木津川流域水質ネット

ワーク会議からの要望書を厚生委員会で審査した結果、同委員会は「三重県伊賀市における産業廃棄物の調査及び撤去を求める意見書」(案)を発議した。

【意見書の要旨】

木津川流域で暮らす住民の末永い安全・安心を保障する観点から、「三重県伊賀市の安定型最終処分場」の合法性が確保さ

れるべき。

そのための毅然たる指導はもとより、徹底的な調査と積極的な情報開示を求めると併せ、万一、公共水域への影響が確認された際には、速やかに廃棄物を撤去されるよう求めるものである。

Q 委員会を2度開いた経緯は。

A 議会基本条例に基づき、要望書提出者の意見を聞き、意見書案をまと

めた。その後三重県から

申し出(廃棄物が廃棄された当時は合法であったこと。検査値の違いなど)があり、再度委員会を開き、意見書案を精査した。

Q 意見書の「調査及び撤去」とはどのようなことか。

A 有害なものが処分場の外に流れ出さないように調査し、万一の場合は速やかに撤去を求めると

いうこと。

全員賛成で可決

意見書は三重県知事に提出した。

常任委員会を3つに減らす

議員定数が24人になる

ことから、これまでの4常任委員会を議員改選後に3つに減らすと議員発議した。

この4年間の委員会への付託案件数から総務委

員会と文教委員会を一緒にして、総務文教常任委員会とする。

新委員会の名称と委員数は、次の通り。

- ①総務文教常任委員会
  - ②厚生常任委員会
  - ③産業建設常任委員会
- 委員数は各8人。

全員賛成で可決

教育委員を再任

5月10日に任期満了となる教育委員の杉本清重さん(60歳)を再任した。

杉本さんは、13年12月から加茂町教育委員、19年3月から木津川市教育委員(委員長)。

全員賛成で同意

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載  
賛成=○ 反対=×

議案名:平成23年度一般会計予算

議員名	会派名	
伊藤紀味枝	民主	○
炭本 範子	民主	○
大西 宏	民主	○
七条 孝之	民主	○
深山 國男	民主	○
西岡 政治	民主	○
山本 喜章	民主	○
倉 克伊	さくら	○
出栗 伸幸	さくら	○
阪本 明治	さくら	○
吉元 善宏	さくら	○
尾崎 輝雄	さくら	○
高味 孝之	イレブン	○
曾我千代子	イレブン	○
中谷 裕亮	イレブン	○
木村 浩三	イレブン	○
酒井 弘一	共産	×
宮嶋 良造	共産	×
村城 恵子	共産	×
森岡 譲	共産	×
島野 均	公明	○
織田 廣由	公明	○
呉羽 真弓	無会派	○
梶田 和良	無会派	×
片岡 廣	無会派	○

(会派ごと、敬称略)

※議長は採決に加わらない

- 民主=民主改革クラブ
- さくら=さくら会
- イレブン=イレブンの会
- 共産=日本共産党木津川市議員団
- 公明=公明党
- 無会派=会派に属さない議員

# 「きめ細かな交付金」

## 今年度も活用

### 補正予算特別委員会

3月3日に委員会を開会。一般会計補正予算は5456万円を減額し、240億5595万円とする内容。

#### 主 な 質 疑

Q きめ細かな交付金、住民に光を注ぐ交付金9932万円を使う一方で、

付金は。

A 税務課長 固定資産

税償却資産の修正申告等によるもの。

その分の一般財源が減額になっている。これで地域活性化につながるのか。交付金の対象事業は何か。

A 財政課長 各課の要望で交付金の趣旨により

予算化したもの。交付金を使い、一部一般財源を減らした。

主な事業は、公用車（エコカー）の購入、小中学校のデジタルテレビ導入、小中学校の遊具改修、図書館の図書やDVD購入など。

Q 一千万円の過誤納還



整備が進む木津駅東地区

Q 重度障害児の在宅生活

を支援するための補助金の内容は、23年度も引き続き続くのか。

A 保健福祉部次長 看護師配置のための補助金

である。継続を予定。

Q 子宮頸がん等ワクチン接種事業費1501万円

で何人接種できるのか。

A 健康推進課長 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン、合計で

1531人分である。

Q 敬老会費用436万円を減らした理由は。

A 高齢介護課長 祝金の対象者が見込みより少

なかった。送迎バス台数も見込みより減ったため。

Q 木津駅東地区整備事業1億6311万円減額の理由

は。

A 建設課長 駅東駐輪

場、駅東西のアクセス道路事業は、府との協議で時間がかかり、工事期間の変更により減額となった。

### 補正予算の主な事業

◆ふれあいセンターの修繕・エアコンの新調	732万円
◆保育園の冷蔵庫買い替えなど備品購入	340万円
◆中央体育館の雨もり修繕（調査費）など体育施設の修繕	1776万円
◆学校のテレビの地デジ化	2765万円
◆3図書館と木津南中学校の図書購入	2966万円
◆子宮頸がん等ワクチン接種補助	1505万円
◆新清掃センター建設基金積立	1億円

(万円未満の金額は切り捨て)

委員長  
副委員長

尾崎輝雄 山西喜章 七岡政治 炭本孝治 吉本孝之 野元範子 善善宏均

高味裕亮 中谷三 木村浩一 酒井弘 森岡真弓 羽讓

# 237億円の骨格予算を審査

## 予算特別委員会

3月10日・11日・15日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。(委員長 織田廣由・副委員長 出栗伸幸)  
237億円の一般会計予算を審査し、賛成多数で可決した。

### 主 な 質 疑

議会・市長公室・総務部・出納部・支所・行政委員会の予算

**Q** 自主財源比率が落ち込んだ理由は。

**A** 財政課長 国の事業である子ども手当、子宮頸がん予防ワクチン等接種助成費などの国費が増え、自主財源が減ったもの。今後、補正予算で基金の活用により自主財源比率は上がるものと考えらる。

**Q** 議会基本条例を制定した。趣旨はどう予算審査に反映されているか。

議会の活動が、議会基本条例の趣旨に即して、コスト削減を図ることができるとしている。

**A** 総務部長 新年度予算の編成は11月から行なっており、基本条例制定時期と差が出た。そのため予算審査に反映されていない部分がある。

**Q** 電子計算費の基幹業務維持管理費は、将来にわたり維持管理のコスト削減が図られるのか。

**A** 電子計算費の基幹業務維持管理費は、将来にわたり維持管理のコスト削減が図られるのか。

**A** 市長公室理事 基幹業務システムの契約期間の満了により更新する予算である。府システムで共同化することにより将来的にコスト低減を図ることができるとしている。

**Q** 集会所建設事業の概要は。

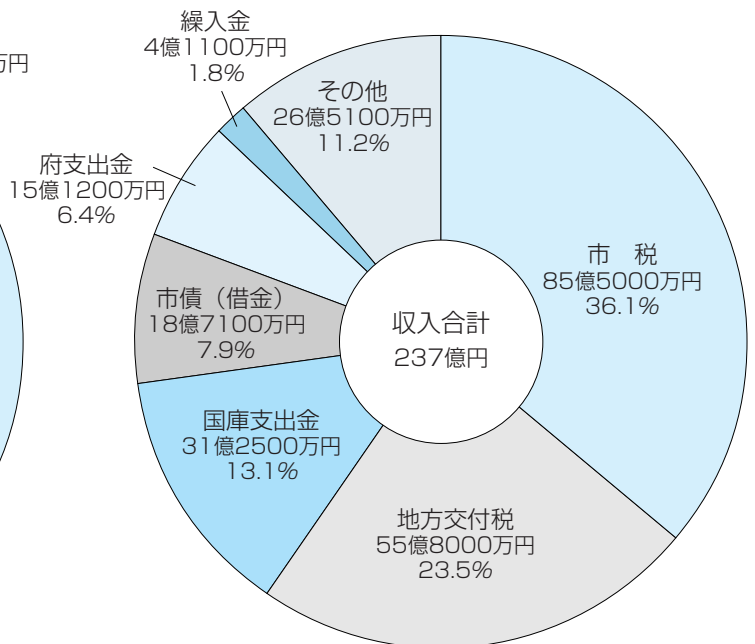
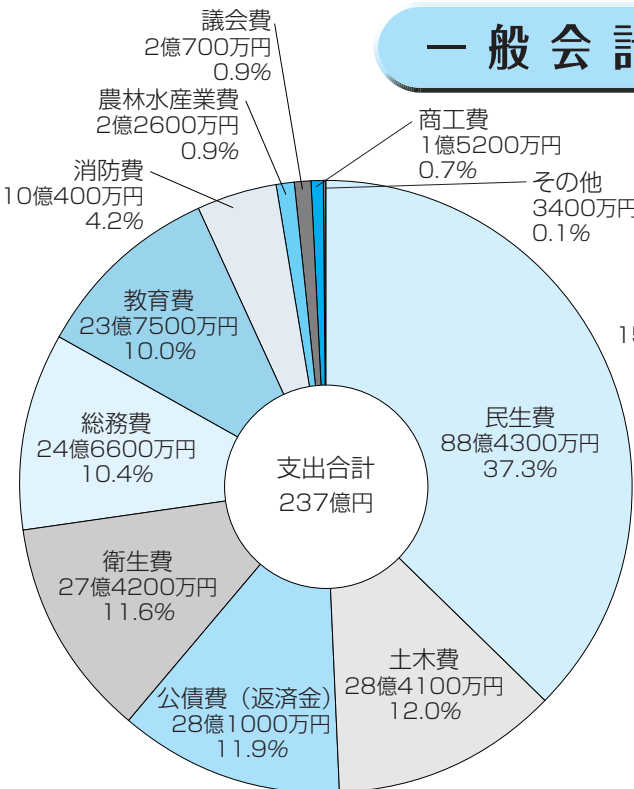
**A** 総務課長 梅谷集会所を建設するもので、床面積200㎡、軽量鉄骨平屋建、駐車場12区画を整備するもの。

### 生活環境部・保健福祉部の予算

**Q** 障害者日常生活用具の助成には、中途障害者が適用されていない。公平な制度に向けた、検討の状況は。

**A** 保健福祉部次長 昨年9月以降、相楽郡の社

## 一般会計予算構成



(万円未満は切り捨てのため合計額と一致しません)

# 一般会計予算の主な施策

## ◆ 子育て支援

- \* 子ども手当 18億3,520万円
- \* 梅美台小学校校舎増築（6教室） 1億8,257万円
- \* 給食配膳室整備（加茂地区3小学校） 2,400万円
- \* 小学校有人警備 2,340万円

## ◆ 観光振興

- \* 七夕まつり 150万円
- \* 納涼大会 560万円

## ◆ 安全・安心のまちづくり

- \* 井関川改修 1億605万円
- \* 学校の耐震補強工事（木津小、相楽小） 1億4,379万円
- \* 橋梁長寿命化修繕計画策定 856万円

## ◆ 地域福祉の充実

- \* 予防接種（ワクチン接種助成等） 2億3,469万円
- \* 生活保護費 6億2,753万円
- \* 介護基盤緊急整備（グループホーム2カ所建設補助） 1億9,740万円

## ◆ 都市基盤づくり、その他重要施策

- \* 木津山田川線道路改良 2億868万円
- \* 木津駅前土地区画整理（最終年） 1億3,320万円
- \* 木津城址公園建設（2年目） 3億6,050万円
- \* 第26回国民文化祭 1,852万円

**Q** 観光事業予算、市民に目標値を決めPRすべき。

**A** 生活環境部次長 昨年は国民文化祭等で7万人の来客があった。PRは行なっているが、目標は決めていない。

**Q** まち美化推進課主幹 収集運搬に係る人件費は21年度に比べ下がった。再資源スチール等の売り捌き料の値が下がったことにより、中間処理委託料が上がったため。

**Q** ごみ処理事業で不燃ごみの中間処理委託料だけが上がっているのはなぜか。

会福祉行政協議会で2回協議を行なってきた。自立支援法廃止後の国の議論があり、状況を見て予算化も含め判断したい。

### 建設部・上下水道部・教育部の予算

**Q** 被害防止計画で有害鳥獣対策は進むのか。

**A** 農政課長 国や府の補助金には、防止計画があることが必要。補助金は厳しいが、地域対策協議会とも連携し対策を強めている。

**Q** 木津山田川線道路改良事業の建物移転は進んでいるのか。

**A** 建設課長 24年度から工事が始まるよう進めている。現在、移転補償の交渉は残り5件。

**Q** 汚水処理基本構想は決定されたのか。

**A** 下水道課長 旧町域毎に地域の実情や過去の経過の違いもある。今後は地域審議会の意

見やパブリックコメントの意見、議会の請願を踏まえ決定していきたい。

**Q** 木津南中学校の修繕料の内容は。

**A** 教育総務課長 窓ガラスや備品破損時等の緊急対応のもの。



5番目の中学校開校（州見台）

## 児童扶養手当 障害認定医を 設置

総務委員会

2月24日に委員会を開  
会し、議案10件を審査し  
た。

全議案可決

### ■参与条例を廃止

合併後3年間、加茂・  
山城支所に参与を設置し  
た条例を廃止。

**Q** 昨年3月11日に参与  
は退職した。条例の廃止  
が今になったのはなぜか。  
**A** 満了後一定期間をお  
いて廃止することにして  
いたため。

**Q** 参与を設置した目的  
が遂行されたかの評価は  
行ったか。  
**A** 十分に地域の実情を  
反映し、市長を補佐した。

全員賛成で可決

### ■認定医を設置

非常勤の特別職として、  
新たに児童扶養手当障害  
認定医の報酬と、費用弁  
償を定める条例の一部改  
正を行うもの。

**Q** 児童扶養手当障害認  
定医の報酬は学校医等に  
準じた額か。  
**A** そのとおり。報酬日  
額は5400円。

全員賛成で可決

### ■旧加茂町4財産区予算 を審査

**Q** 財産区の地区公民館  
改修に財産区の補助金と  
市の補助金の関係は。

**A** 先に市補助金を充て、  
不足分は財産区から補助  
する。

全員賛成で可決



改修される岡崎区公民館

## 来年4月に 当尾小学校を 統廃合

文教委員会

3月2日開会し、議案  
1件を審査した。

全議案可決

23年度末に当尾小学校  
を廃止し、南加茂台小学  
校に統合するための条例  
改正。

**Q** 残された時間は1  
年。教育委員会の考えは。  
**A** スムーズな統合に向  
け、南加茂台小学校との  
交流をすすめる。あり方  
検討委員会の答申を守る。  
加配教員を府に要請する。

**Q** 教育委員会は、統廃  
合に当たり、あり方検討  
委員会や保護者会などで  
は議論してきたが、子  
どもたちには説明をした

のか。

**A** 子どもたちには、直  
接話していない。今後、  
子どもたちのことは保護  
者と相談し、対応する。

全員賛成で可決

**Q** 小学校跡地は検討委  
員会で検討されるという  
ことだが、跡地の維持管  
理費は。  
**A** 年間80万円くらいだ。

**Q** 南加茂台小学校への  
通学方法は。  
**A** スクールバスで対応  
する。児童が少なくなっ  
ても責任をもって対応す  
る。



23年度で廃校される当尾小学校



# 定員150人増 だが待機児あり

## 厚生委員会

2月28日と3月14日に委員会を開会。議案10件と要望書1件を審査した。

**全議案可決**

### ■2歳児で16人の待機児

保育所条例の一部改正で、やましろ保育園分園（30人定員）を設置、当尾保育園（休園中）は廃止。

**Q** 4月からの状況は。

**A** 2歳児で16人が待機。一時保育を勧める。

**Q** 当尾保育園や小学校などの活用に地域の声を反映せよ。

**A** 教育委員会で議論し、普通財産になればしかるべきメンバーで議論する。

全員賛成で可決

### ■医療費は1ケタの伸びか

23年度国保会計予算

**Q** 医療費の伸びは。

**A** 前年度比で22年は6・4%増、23年度は7・4%増と予想している。

**Q** コンビニ収納の手数料は。

**A** 窓口納付3200世帯の3割が利用する予想。手数料は1件63円×960世帯×10回分＝60万4千円。

全員賛成で可決

### ■認知症の施設を2カ所新設

23年度介護保険会計予算

**Q** 介護給付と保険料の見通しは。

**A** 介護給付は増えるが、3億円の基金を使い、保険料の引き上げ幅を抑えたい。

**Q** 特養ホームの待機者は。

**A** 92人。23年度に認知症のグループホームが2カ所できる。待機者も減る。

### ■全員賛成で可決

### ■国保・介護などの補正予算も可決

国保・老健・介護の3特別会計の補正予算は、年度末の精査でそれぞれ減額した。

全員賛成で可決

### ■社協が山城福祉センターの指定管理者

市社協が引き続いて、1年間指定管理者となる。

**Q** 1年間の指定期間は建て替えの意味か。

**A** すぐに建て替えるのではなく、1年間で今後のことを検討する。

### ■全員賛成で可決

### ■産廃の調査と撤去を求める意見書提出へ

木津川流域水質ネットワーク会議からの要望書を審査するため、議会基本条例の規定に基づき、同会議の代表者から意見を聞いた。委員全員の賛成で、三重県知事への意見書を本会議に提出した。



廃園になった当尾保育園

# 簡易水道の 基幹改良は 27年度で完了

産業建設委員会

3月1日に委員会を開会し、議案9件を審査した。

全議案可決

## 14の市道を認定

Q 歩行者専用道路の認定はすべて終わったのか。  
A すべて終わった。

全員賛成で可決

## 23年度公共下水道会計

Q 借り換えで利息はいくら減るのか。  
A 約1200万円。

予算の借金の借り換え

## 水道事業の健全化を

Q 府営水の空水(契約水量と使用水量との差)はいくらか。  
A 約2000万円で、

全員賛成で可決

財政調整基金から出している。

Q 一部の大型店舗などでは地下水を利用して上下水道料金を支払っていない。対策は。

A 事例や法解釈を含めて総合的に検討する。

全員賛成で可決

Q 27年度末に基幹改良は終わるのか。

A 平均して毎年1億5700万円程度の予算で終わる。

## やすらぎタウン上粕南部広場を都市公園に

Q やすらぎタウン天神川北広場はどうするのか。  
A 北広場はゲートボール場を主とした公園であり、都市公園にできない。

全員賛成で可決

## 山城町森林組合が指定管理者に

Q 山城町森林公園の集客率アップへの取り組みは。  
A 国民文化祭や野鳥観察会などを検討する。

Q 新たな費用が発生するののか。  
A 指定管理料は、3年間追加しない。

Q 計画的な宿泊施設の改善は。

A 今後、調整を進めていく。

全員賛成で可決

## 7市道を廃止

Q 地元同意を得て市道廃止する提案か。  
A 利害関係者全員の同意を得ている。

全員賛成で可決

## 23年度簡易水道会計予算の基幹改良に8500万円

Q 有収率が改善するのはいつか。  
A 24年度の工事完了から、よくなる見込み。

## ワード

### 有収率

配水した水のうち、料金の対象となった水の割合



都市公園となる上粕南部広場

# 生活環境影響調査向けに条例制定

清掃センター建設特別委員会

3月14日、委員会を開  
会。

付託案件である「木津  
川市一般廃棄物処理施設  
に係る生活環境影響調査  
の縦覧等の手続に関する  
条例」の制定について審  
査した。

## 主な質疑

Q 生活環境影響調査の  
実施スケジュールは。

A 今年4月に条例の公  
布を行い、5月頃から計  
画書について1カ月間縦

覧し、夏頃から1年間、  
現地調査を行い、来年秋  
頃に生活環境影響調査の  
結果を取りまとめる。

Q 「利害関係」と表現  
があるが、利害関係者と  
は。

A 市民全体を指す。

Q 縦覧場所について、  
その他市長が必要と認め  
る場所とは、加茂支所を  
指すのか。

A 縦覧場所は本庁を考  
えているが、縦覧図書以

外にわかりやすく概要版  
を作成し、ホームページ  
や広報などで知らせる。  
また、縦覧にあたり、  
経過、内容を求められる  
場合があると考えている  
ことから本庁で対応する。

Q 府条例に基づく環境  
影響調査と廃棄物処理法  
に基づく生活環境影響調  
査との違いは。

A ほぼ同様の扱いであ  
る。

全員賛成で可決



環境アセスが行われる鹿背山川向地区

# 組合議会報告

当初予算  
賛成多数で可決

(京都府後期高齢者医療  
広域連合)

23年度予算を可決

(加茂笠置組合)

常勤の整形外科医は  
不在だが経営改善

(山城病院組合)

2月10日、京都市内で  
定例会を開会。

3人が一般質問し、議  
案4件・承認1件を審議  
し可決した。

後期高齢者医療制度の  
直ちの廃止を求める意見  
書案と「高齢者の医療制  
度確立と国保への国庫補  
助増額を求める」請願書  
とともに賛成少数で否決、  
不採択となった。

一般会計(運営経費)  
と特別会計(被保険者へ  
の保険給付費や市町村の  
健康診査への補助など)  
の23年度当初予算2件は、  
賛成22反対4の賛成多数  
で可決した。  
22年度一般・特別会計  
補正予算は、全員賛成で  
可決した。

2月3日、定例会を開  
会。

議案は22年度補正予算  
と23年度予算を審議。

補正予算の収入は、線  
下補償金48万2千円、基  
金への繰入金は38万9千  
円を減額。支出は、基金  
から59万4千円を減額し  
た。全員賛成で可決した。

23年度予算案は、総額  
2千万円であり、主な収  
入は線下補償金1476  
万6千円、財産の貸付収  
入が317万6千円。主  
な支出は、基金の積立が、  
1616万4千円。線下  
補償組合への負担金が1  
06万8千円であり全員  
賛成で可決した。

2月17日、第1回定例  
会を開会。

最初に管理者から、①  
医師と看護師の年末年始  
手当を廃止②今年度の病  
院と介護老人保健施設の  
経営見通し③心血管疾患  
センター開設の予定、な  
どの報告があった。

4人の議員による一般  
質問の後、議案を審議。  
副管理者の選任は賛成多  
数で同意。公平委員の選  
任、23年度病院予算、23  
年度老人保健施設予算、  
22年度病院と老人保健施  
設両補正予算の5件は全  
員賛成で同意、可決した。  
なお、整形外科医師不  
足問題で全員協議会を行  
った。

# 組合議会報告

徴収率が改善

(京都地方税機構)

2月19日定例会開会。  
議案3件を審議。

23年度一般会計予算は19億4166万円。主な支出は機構の人員費、地方事務所運営費、課税事務共同システム開発費。主な収入は構成団体の負担金。賛成多数で可決。

22年度補正予算は人員費や運営費等の見直しで1億9549万円の追加。賛成多数で可決。

常勤の副広域連合長の期末手当支給減額の専決処分は全員賛成で承認。

滞納徴収実績は22年4月から12月で、徴収率約27%。木津川市分の徴収実績は、約28%であった。

不祥事の防止にむけて

(西部塵埃組合)

2月21日に開会。

22年度補正予算で55万円の残業手当を追加、不祥事再発防止に伴うもの。

23年度予算は、収入支出とも5億6095万円で、前年より2億3096万円の増額。主な内容は、焼却炉補修工事に2億4800万円、補修時の片炉運転によるごみ搬出委託料6405万円。

収入では、財政調整基金から2000万円を繰り入れた。木津川市の分担金・負担金は1億5090万円で、前年より1624万円の増。その他、職員の給与に関する条例、職員の育児休業に関する条例の一部改正などを審議し、全議案可決した。

1年で383件の相談

(相楽郡広域事務組合)

2月21日、23年第1回定例会が開会。

議案は4件、22年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算、相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算、23年度相楽郡広域事務組合一般会計予算、相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算である。全員賛成で可決。

開設1年を迎える相楽消費生活センターは、12月末で、383件の相談があった。相楽会館小ホールを改修し、日曜日・祝日・年末年始に診療できる休日急病診療所の開設時期は24年4月の予定である。

高規格救急車を配備へ

(相楽中部消防組合)

2月18日、定例会を開会。

22年度補正予算第2号は、市町村未来づくり交付金など583万円を追加し、収入支出総額を12億6113万円とする。

23年度予算は、収入支出総額を、前年度より1450万円増の12億7650万円とするもので、主な支出は、高規格救急車の購入2600万円、消防車3732万円、借入金返済に1737万円などの議案を審議し、全議案を可決した。

## 東日本大震災被災地への派遣状況

相楽中部消防組合は、3月29日までに、7次にわたる派遣隊を編成し、46名の隊員が被災地で救助活動を行ってきた。



相楽中部消防本部が救助活動を行う宮城県南三陸町志津川地区 (相楽中部消防組合提供)



寄贈図書の流れを

誠意には誠意で 図書寄贈者に

資料収集方針の精神にそって対応

**Q** 図書館資料収集方針が22年10月1日から施行された。6条からなる立派な内容だ。その中に、寄贈図書の明確な取り扱い規程がない。「法に依って人に依らざれ」という言葉がある。早急に規定すべきと考えるが。

**A** 教育部長 寄贈図書の明確な取り扱い規程は現在、作成中。

**Q** 21年度中の寄贈1154件と聞いている。すべて登録されたか。

**A** 教育部長 寄贈図書の取り扱い規程の策定を進めながら、現在、すでに登録されたか。

**Q** 早くに条例を策定すべき。

**A** 生活環境部長 実態調査の結果360軒



公明党 織田 廣由

を台帳化すると共に、52件に適正に維持管理するよう文書で通知した。また美化推進課、危機管理室、管理課、税務課等と連携し、数件解決している。全国の中で条例を制定している事例もあるが、適用された例はない。条例制定にはさらなる検討が必要であると考えている。

コミュニティバスの路線再編は

総合的な公共交通確保をめざす

**Q** 現在のコミュニティバスの課題は。公共交通運行は生活弱者の重要な移動手段の一つでもあるが、今後ルート再編の中で各地域間を結んだり循環するバス運行は考えられないか。運賃はどうなる。

可能な運行体系の構築と乗り継ぎの負担軽減、地域間運行などが課題。地域のバス運行は、鉄道やバス等が役割分担をする方向で進めている。

**A** 市長公室長 現在、各路線において持続

現在のコミュニティバスの路線は、鉄道駅を中心にルート設定し、今後各輸送モードが役割分担する中で、総合的に市



イレブンの会 木村 浩三

内の公共交通確保をめざす。

運賃は、今現在、改定の検討はない。

水道料金の統一は

**Q** 水道事業の基本計画、水道ビジョン作成の予算が計上されたが、業

**A** 上下水道部長 21年度で業務を完了。基本計画では現在、旧3町ごとの水道事業を一つに統合し、事業経営を一元化して、効率化を目指すもので、23年度中に策定完了する予定。水道料金の統一が必ずしも水道事業統一の条件とはならない。

務は完了したのか。旧3町の水道事業が統一されない水道料金も統一できないのでは。



山城の浄水場

「生きる力」を、鍛える教育とは

学校・家庭・地域連携で育む

**Q** 特色ある、開かれた学校づくりは。

**A** 教育長 各校の特色を明確に、学校・家庭・地域の力を相乗活用する学校経営を策定し、保護者や地域の負託の下、各々の声を生かす。

**Q** 教育改革のある所、学校選択あり。市の考えは。

**A** 教育長 保護者の意向等、事情を弾力的に行うものの、児童生徒の入学すべき学区を指定する規則を継続。

**Q** 学校評議員とは。

**A** 教育長 開かれた学校づくりに保護者、地域住民の意向を学校等に反映。校長の求めに説



さくら会  
阪本 明治

明責任を果たす観点から設けたもの。

**Q** 学校評価とは。

**A** 教育長 学校経営計画の下、教育活動等の学校運営目標の成果や課題を整理し、次年度の学校経営計画の作成に活

用する。

**Q** 子どもたちのアイデンティティを、どう育成するのか。

**A** 教育長 教育は、子どもたちの生涯にわたって生きる力を育むもの。確かな学力と豊かな心を規範意識や他を思いやる心の教育を。また、人と人を結ぶコミュニケーション能力も大切な力。これら有機的に育み、自分の将来の目標を持たせ進めたい。



生きる力が育つ 生徒指導を



事業仕分けの効果は

塩漬け土地は税の無駄遣い

事業化を目指し検討する

**Q** 毎年必要経費が2千万円近くいるにもかかわらず、過去に購入した土地を何ら利用せず放置しているのは税金の無駄遣いだ。

**A** 市長 先行取得した土地が長期間利用されないのは近年の経済状況、社会状況が原因にな

っている。不要な財産については売却をめざす。

**Q** UR（都市再生機構）が北地区の開発を断念したので、市が開発に備えて購入した1億5千万円の山林は、無用になった。この山林をどうするのか。

るのか。



民主改革クラブ  
深山 國男

行財政改革の結果は

**Q** 合併以来市長の実績は。行財政改革は進んでいないのではないか。

**A** 市長 木津川市行財政改革行動計画に基づき粛々と進めている。収入で3千万円増やし、支出で14億3千万円カットした。

**A** 総務部長 行政目的で購入した土地がその通りにならなかつたら他の利用を考えるか、公募により民間に売却するかである。



造成中の木津中央地区

25年撤退のURへの対策は万全か

市として適切に対応していく

**Q** UR（都市再生機構）の撤退が、25年に予定されている。国の事業仕分けでは、URの解体案まで出ているが対策は。

**A** 市長 5年間の精算期間で対応していく。

**Q** 24年に木津中央地区の「まちびらき」が行われるが、小・中学校

の開校は。

**A** 教育部長 小学校は26年4月の予定。中学校は予定なし。

**Q** 京大附属農園の移転が進められている。植物バイオの研究拠点として期待され、企業誘致にもつながり、学生の転入な



イレブンの会  
高味 孝之

ど魅力ある計画だ。三者に委ねるだけでなく市も積極的に働き掛けるべきでは。

**A** 市長公室長 23年度末までに、新農場用地の譲渡契約が円滑に締結されることを期待する。

**Q** URの開発で人口が増えた。清掃センター建設には、URに応分の負担を求めべきでは。

また、学研木津北・東地区土地利用委員会でも協議すべきでは。

**A** 生活環境部長 開発の負担についての覚書がある。基本的には、それに基づいて協議をしていく。検討委員会でも、意見を出していく。

高齢者支援対策の充実を

実施に向けて協議したい

**Q** 生き甲斐対策として、ボランティア活動に参加する高齢者の介護保険料減免制度を取り入れるべきだと思う。厚生労働省も推奨している。

また、買い物不自由な高齢者支援策として、市内商工会と連携して「宅配店マップ」を作成・配布すべき。

**A** 保健福祉部長 直ちにはできないが、興味を持って検証したい。

生活環境部長 商工会事務局と協議する。

充実した学校運営を

**Q** 新学習指導要領に対応する理科実験用の学校備品等が壊れずに整



イレブンの会  
曾我千代子

備されているか確認をすべき。また、古い学校施設には石綿が使用されているが、封じ込めではなく撤去すべき。

**A** 教育部理事・建設部長 学校に向き確認する。

教育部長 石綿は、再調査したい。

住民は不満だ

**Q** ①史跡や文化財情報のアピールを。②法花寺野にもコミュニティバス運行を。③触診のみ乳ガン検診は不要。④公民館使用料の再考を。

**A** 教育部長 ①そうした。市長公室長 ②バス協議会で図っていきたい。保健福祉部長 ③再来年度には考えたい。

教育部長 ④社会教育委員会に委ねる。



木津川市文化財整理保管センター一分室

水道料金を値下げせよ

1m<sup>3</sup>41円の赤字、料金統一を行う

**Q** 府営水の値下げで、4月から精華町と京田辺市は水道料金を値下げする。

口径20ミリ30m使用で同じ府営水を使う精華町と比べ、木津地域は598円の料金差が1125円に広がり高くなる。市も料金を値下げせよ。

**A** 市長・上下水道部長 市は1m<sup>3</sup>あたり41円の赤字であり、値下げできない。なるべく早い時期に答申案の上下水道料金統一を行いたい。

バス回数券をつくれ

**Q** 限定シーカの販売終了で乗客が前年比76%に減った。1回15



日本共産党  
宮嶋 良造

0円で乗れる市内共通のコミュニティバス回数券をつくれ。

**A** 市長公室長 運賃値上げで収入は経費の5割となった。回数券は引き続き研究する。

待機児童をなくせ

**Q** 公立保育園の民営化をやめよ。保育園を増やし、待機児童を解消せよ。

**A** 市長・保健福祉部長 民営化は検討中。26年度中に1園を整備する。

行きやすい投票所に

**Q** 投票所のバリアフリーは進んだか。

**A** 選管事務局長 状況は19年と同じ。投票所の構造上できないところは職員が対応する。



きのつバスの改善を

きのつバスに温かみある改善を  
改善できるよう検討努力する

**Q** きのつバスに関する決議項目は改善したか。

**A** 市長 運賃割引の導入は、期間限定の割引カード販売を実施した。今後は奈良交通割引カードの利用を促進する。現状レベルを維持して、鉄道ダイヤ等との向上に

努力する。運行経費削減は、22年度に大幅削減したがさらに努力する。

**Q** 運賃値上げ後、利用者には20%以上減少。利用しやすさに温かみある改善を望む。

近距離は1000円なら



民主改革クラブ  
大西 宏

高齢者の買物利便性向上や庁舎前の市道335号の狭い歩道通行安全対策にもなる。

乗り継いでも200円なら負担が軽減され利用が増加する。

これらの工夫で利用促

進のキャンペーンを実施せよ。収支確保と利用者確保の両立に努力を。

**A** 市長 料金負担軽減を、引き続き研究し、少しでも改善ができることを検討していく。  
**副市長** 検討結果を公共交通連携協議会にもはかり、期待に応えられるように努力したい。



府営水道木津浄水場





大仏鉄道遺構

市の統一見解と安全対策は

現行通学路が最善のルート

**Q** 木津第二中学校通学路に関する12月の教育長と市長答弁は違っていた。①校区変更時の自治会などの協議内容は。

②通学路に対する市の統一見解と子どもの安全対策は。

**A** 教育部長 ①保護者説明会で、通学路の

夜間照明の整備など安全確保の意見があり「充実させる」と答弁した。②

現行通学路が最善のルートと考える。安全対策として、今後、夜間照明が必要である。現在は、安全な道路での帰宅を学校で指導している。

豊楽橋東詰北側市道の改善策は

歩行者や運転手に注意喚起する

**Q** ①「鉄道の街」としてのアピールは。②

防災無線の各戸への設置は。③防災協定団体とのマンニユアルの作成は。④各自治会や町内会の集会所本体以外の塀や柵などの修理費用の復活は。⑤豊楽橋東詰北側の市道の改善策は。

**A** 生活環境部長 ①大仏鉄道の遺構や施設の魅力を来訪者に発信。

総務部長 ②現在も引き続き電波の伝わり状況を調査。今年度は携帯電話のメール機能で「緊急情報配信サービス」を導入する。総務部長・上下水道部長



日本共産党

森岡 謙

③各団体には状況に応じて依頼する。支援の内容を整理して

総務部長 ④集会所改修補助は現状どおりで良いと地域長会で決定された。建設部長 ⑤この区間については、外側線を引

て歩行者や運転手に注意喚起する。  
特養ホームの建設を急げ

**Q** 市は特養ホームの建設や誘致も含め、特養施設への入所待機者ゼロをめざせ。

**A** 保健福祉部長 地域密着型サービスのグループホームや、小規模多機能型居宅介護事業の活用を進めていく。



民主改革クラブ

西岡 政治

活性化交付金の使途は

**Q** 政府は、12月補正予算で円高・デフレ対策として3500億円の

地域活性化交付金制度を創設し、市に9900万円が交付された。①実施計画の内容と早期発注は。

②経済効果をあげるための新たな事業は。

**A** 総務部長 ①12月以降の補正予算を合せて23事業、1億5200万円予算化した。また、

投資効果をあげるため、早期発注を各所属に指示。②地域経済効果の大きいエコカー3台、パソコンの購入、小中学校の地上デジタルテレビの整備事業を盛り込んだ。



通学路の安全点検は

汚水処理基本構想案の見直しを

現在のところ考えはない

**Q** 再三申し上げた、「案」を策定するには、まだ、地域の把握ができていない。放流先確保が必要。協定事項を考慮すべきと。3月2日加茂地域審議会が開催された。答申内容と対応は。

加茂支所長 地域審議会の意見は、「合併協議の内容を尊重されたい。構想策定に向け地域住民に対し、十分な説明と、理解や協力を得ようとする積

極的な姿勢で臨むこと。行政と地域が価値観や、置かれている現状を理解し、課題解決に向け最善策を模索されたい。」

上下水道部長 地域審議会やパブリックコメントの意見、議会の請願採択を踏まえ、最終決定する予定。

**A** 市長 答申はまだ届いていない。瓶原だ

加茂支所長 地域審議会の意見は、「合併協議の内容を尊重されたい。構想策定に向け地域住民に対し、十分な説明と、理解や協力を得ようとする積



民主改革クラブ  
炭本 範子

早期事業化を

**Q** 加茂岡崎の国道163号と市道との交差点は事故多発地である。長年住民が要望し続け、交差点を拡幅する新規事業化を、要請している。

**A** 建設部長 この地域は最も危険な箇所のひとつだ。継続事業が完了すれば取り組む。

建設部長 この地域は最も危険な箇所のひとつだ。継続事業が完了すれば取り組む。



危険な交差点の改良を



耐震改修が急がれる棚倉小学校

木津中・棚倉小・上粕小の大改修

計画を前倒し、27年までに完了

**Q** 耐震強度が非常に低い木津中学校・棚倉小学校は、建て替えの方針と聞く。工事期間など、その概要は。特に、棚倉小は、着手が最後となるが、もっと前倒しできないか。

上粕小学校は、老朽化の著しい北校舎の特別教

室を使っている。今日まで先延しになっている大規模改修は、トイレ改修を含め、もっと素早い対応が必要では。

**A** 市長・教育部長 木津中学校は、全面改築の方針。23年度で設計、24年度から26年度で、工事費約

15億6900万円、校舎・体育館・武道場・運動場を整備する予定。棚倉小学校は、25年度で設計。26・27年度で北校舎を改築する。13学級で、工事費8億6500円の予定。当初計画より

前倒ししたので、計画どおり進めたい。上粕小学校は、21年度で耐震補強を、22年度で南校舎の雨もり補修。大規模改修は27年度末までに行う。その後、トイレ改修の予定だが、できる限り前倒しするよう努める。



さくら会  
倉 克伊



東木津川台自主防災組織の訓練

防災ガイドブックの作成を

23年度終了後に作成する

**Q** 世界有数の地震国、「災害はいつ起きても不思議ではない」と言われている。自助、共助の意識を高めるため早急に防災ガイドブックを。自主防災組織の状況は。

防災組織は、世帯率で70・2%。

**A** **総務部長** 府の土砂災害警戒区域の指定（23年度完了）後に作成し、全世帯に配布する。自主

**Q** 安心・安全歩行者道路の確保を。②各中学校自転車通学路の防犯灯の管理状況は。③空き缶ポイ捨て、飼い犬のフン放置の防止を。

**A** **建設部長** ①でこぼ性、緊急性を考え実施する。**総務部長** ②地元自治会、学校、市が連携し管理する。**生活環境部長** ③市民のマナー意識、モラル向上のため、広報等で啓発する。



公明党

島野 均

低所得世帯に学習支援を

**Q** ①低所得者世帯の子どもに対する学習支援策に、中高3年生に対して貸付事業を。②小学校土曜チャレンジスクール推進事業を。

**A** **教育部理事** ①東京都で実施されているが、本市の財政状況を考えると困難である。②基礎学力向上は家庭が連携しながら図る。今後、放課後子どもプランは遊びと学びを追求した事業の拡大を考える。

あらゆる虐待を許すな

各機関と連携し取り組む



民主改革クラブ

伊藤 紀味枝

中心に取り組む。

市道335号の整備を

**Q** 「児童虐待の早期発見と適切な対応のため

**A** **市長・保健福祉部長** リストの活用を図り、乳幼児の健診では、発達・健康などのチェックとともに、幼児虐待の早期発見につながる。

**Q** 市の高齢者虐待の実態は。①相談件数は。

**A** **保健福祉部長** ①5件。②3件。③2件。

**Q** 庁舎周辺整備が進む中、メイン通りの市道335号では、振動・騒音など問題点が残されている。

**A** **建設部長** 3期か4期に分けながら、順次計画をしていく。

か。効果は。子どもとの保護、自立支援に至るまでの総合的な

支援体制は。深刻な事案の時は、一時保護、児童福祉施設への入所措置をする。

総合的なネットワークの構築が必要では

歩行者が安心できる歩道の整備を。

子どもとの保護、自立支援に至るまでの総合的な

支援体制は。深刻な事案の時は、一時保護、児童福祉施設への入所措置をする。

総合的なネットワークの構築が必要では

歩行者が安心できる歩道の整備を。



歩行者の安全対策を

河川の不法投棄対策は万全か

未然に防ぐ対策を実施する

**Q** ①市の環境保全、不法投棄対策は万全か。

②上流にある工場からの廃液対策は。③大野地区の河川敷の騒音対策と車の部品放置の対応は。

**A** **生活環境部長** ①環境美化を保つため、不法投棄を未然に防ぐ事が大切で、広報やポイ捨て禁

止の看板で周知。また、パトロールを実施。②市・笠置町・保健所と連携し、対応・確認している。③関係機関と連携し、どのような対応を取れるか協議していく。



片岡 廣

**Q** ①府道47号大野地域の安全確保は万全か。

②市として、府の対応は。③府への事業の要望は。④勝手神社の法面対策は。

**A** **建設部長** ①府や市は安全確保に週3回

道路パトロールをし、危険箇所が発見された場合、通行規制と現場の安全確保の措置をする。②一部事業は着工され、保全対策として治山事業が進められ、市と府と連携し、地元の協力および関係係局と対策工事も継続して、早期完成に向け進めている。③数年かけて工事を完了する。④勝手神社の工区も実施できる予定。



大野地区法面对策は



住みよさランキング全国81位

住みよさランキング上位をめざせ

快適度は全国8位と評価された

**Q** 住みよさランキングで当市は全国81位である。市長の進められた子育て支援を始めとする事業仕分け、行財政改革、人口増に対する取り組みが評価されたのでは。①市民に内容を理解していただくための施策は。②財政健全度ランキング205位を上位に上げる施策は。

**A** **市長** ①快適度ランキング8位で、「広報きづがわ」に掲載。②一人あたりの地方債残高等の負債額が大きいこと。

都市計画税とは目的税

**Q** ①都市計画税は、どのような事業に使われた

**A** **総務部長・上下水道部長** ①木津東西線整備事業、加茂駅前線整備事業など。②下水道は都市計画事業、浄化槽は位置付け無し。③調整区域には都市計画税は課税



さくら会  
尾崎 輝雄

行財政改革へ

していない。

か。②下水道整備や浄化槽は都市計画事業か。③調整区域に都市計画税は。

**A** **総務部長** ①大きな成果がでている。②「公金管理運用基準」を定め、4月施行。③借入金

**Q** ①コンビニ納付の徴収結果は。②ペイオフ対策のその後は。③借入金と預金金利は。

**A** **総務部長** ①大きな成果がでている。②「公金管理運用基準」を定め、4月施行。③借入金を少なくすることが財政運営には必要。



休日診療所の設置を

休日診療所の設置を急げ

開設に向けて、前向きに取り組む

**Q** 生命を守ることが子育ての原点である。市長の子育劇を進めるためにも、休日急病診療所の早期開設を。

**A** 15年から、小児救急医療の必要性が議論され、相楽広域事務組合で24年開所と決定された。今までの対応と今後の

進め方は。

**市長** 18年5月から、日曜・祝日を山城病院で、土曜日を学研都市病院で実施しているが、入院に至るケースは少ない。一次救急と二次救急を分ける必要がある。



梶田 和良

**Q** 山城病院の休日利用者の内、62・4%が木津川市民である。山城病院の管理者として、市長が先頭にたって開設に前向きに取り組んでは。

**A** 保健福祉部長 救急の休日急病診療所は、長年の課題である。医師会等の協力を得て、広域で進め、中身を充実していきたい。

一次救急の後、重篤であれば山城病院での対応が可能となるよう、病院の近くの相楽会館の活用を検討している。

住民との合意で汚水処理を前へ

住民との合意形成に最大限努力

**Q** 市の汚水処理構想案が加茂の瓶原で行き詰っている。住民との話し合いが半年以上止まっています。市はこの間どんな努力をしてきたか。合併浄化槽の維持に市が責任を持つ決断をし、合意形成を進めよ。

**市長・上下水道部長** 住民に話を聞いてもらえない状態が続いている。話しをさせてもらうためのきっかけづくりをして行きたい。



日本共産党

酒井 弘一

**35人学級を完全実施せよ**

**Q** 国の標準法改正で小学校1年生から順次35人学級が始められる。市は完全実施せよ。必要

な学校整備を進め、府の30人程度学級も前進させよ。

**A** 教育部理事 完全実施する。府の施策も並行して進める。

公民館の利用料引き下げ

**Q** 加茂の公民館サークル連絡会が行った利用者アンケートの結果が出た。高い利用料金に悲鳴が上がっている。必要な条例改正を行え。

**A** 教育部長 アンケート結果は受け取った。利用者への声も認識。社会教育委員会が3月に全市のアンケートを予定。その結果を待ち、条例改正を検討する。



公民館の利用料の引き下げを

高すぎる国保税の引き下げを

黒字になれば基金に入れる

**Q** 3議会続けての質問である。共産党のアンケートには、滞納取り立ても厳しく、高い国保税に悲鳴の声が寄せられている。一般会計から繰り入れをして、国保税の引き下げをすべきである。

**A** 市長・保健福祉部長 引き上げで財政は好転

しているが、最終結果は決算による。黒字でも国保の基金に繰り入れる。今後の引き下げは難しい。

住宅リフォームに助成を

**Q** 府内で4自治体が住宅リフォーム助成制度を実現し、町の中小零

細業者と住民のくらしを下支えしている。市内業者の実態はつかんでいるか。助成制度の実施を。

**A** 市長 他の事業に優先的に予算を充当して行く。業者の把握はしていない。



日本共産党 村城 恵子

木津川の水を守れ

**Q** 赤田川源流の産廃排水は安全か。府県を越えた監視は継続されるか。伊賀市の産廃PCB問題は今後どうする。

**A** 市長 共同での監視は今後も続ける。奈良市の水質検査は月1回に増加との報告。伊賀市の産廃処分場の問題は、府南保健所に連絡した。



木津川の水を守れ



不動川公園に照明施設を

不動川公園の照明設置を問う

近隣理解・財政等が問題

**Q** 不動川グラウンドは市のシンボリックなグラウンド。夜間において利用、活用しないのは宝の持ち腐れでないか。

**A** 教育部長 近隣理解と高額な費用が必要で現在のところ難しい。

**Q** グラウンドはより多くの人に利用されてこそ価値あるもの、夜のイベント・野外コンサート等にも活用が可能となり市全体の活性化にもつながると考えるが。

**A** 市長 市民のニーズに応えるという事は大変意義あると思う。

財政に余裕ができてくれば必要性を勘案する。

**Q** 不動川グラウンドは20年以上前の国体が残してくれた地域の誇りである。

一人でも多くの市民に

スポーツを楽しんでもらいたい。照明設置はそのための手段であり、行政は国からの資金で、市民が直接実感できる事業に配分すべきという考えを持っていただきたい。

**A** 市長 市民の皆さんが、少しでもサービスの充実を実感できる施策を実施していくことが必要である。



民主改革クラブ 七条 孝之



親と子に寄り添った健診を

健診の充実と不断なき改善を

改善していく

**Q** 乳幼児健診や予防接種は、虐待の発生予防や発達障がい等の早期発見、親の支援など役割が大きく期待されている。見直しや改善に取り組める部分もある。工夫し、進める。

**A** **市長・保健福祉部長** 効率的にできる部分もある。工夫し、進める。

入札改革を検証する

**Q** 入札改革に向け、種々な提案をしてきた。市の取り組みは、評価する。

**A** 入札改革に向け、種々な提案をしてきた。市の取り組みは、評価する。  
①水道工事の入札結果を検証し、属地主義が名実ともになくなったか、疑問である。どう思うか。  
②適化指針にのっとり、随意契約を公表せよ。



呉羽 真弓

**A** **副市長・上下水道部長** ①地元業者の優位性で、適正な入札の結果と思う。②目標にし、公表する。

損害が起こらないために

**Q** ①開発許可不要の場合、水道分担金の徴収漏れが起きないように、

**A** **市長** 必要最小限の措置。

現施設、7年後に解体か

**Q** 打越台の焼却施設は、7年後に解体か。廃止前提に精査された修繕費か。

**A** **教育長・上下水道部長** ①十分注意していく。②行政財産使用料条例に基づき、算出。

当尾周辺の道路改修は

事業推進に努力する

**Q** 4年間、主に地域の問題について質問してきた。旧木津の事業の遅れから、区画整理、庁舎関連事業の推進が行われてきたが、あえてこの質問にした。

当尾地域内の府道改良・大野赤田川・樋門と大野バイパス等一連の改

良事業の進行状況を問う。  
**A** **建設部長** 府も当尾地内の改良を早急に進めたいとの意向で、地元で協力依頼している。23年度には、用地買収に着手の予定。大畑口バス停から西畑口バス停間は、辻地区に引き続き着手と聞いている。市としても



民主改革クラブ  
山本 喜章

府とともに事業推進するよう努力する。

**市長** 観光を重視した取り組みを現在も進めている。市としても強力に進める。

**建設部長** 赤田川総合流域防災事業は、昭和45年

から進み、20年度に公共事業の評価調査ができた。府で、工事決定し、21年度では4000万円の予算執行がされた。22年度は、1億円の予算が付き、設計および一部用地買収に入っている。一日も早く、事業着手できるように、市としても府に強く要望する。



道路改良の推進を

# わたしの意見



清水 達雄さん  
(南加茂台)

## 議会基本条例に期待

昨年末に議員定数減と併せて、今後の具体的な議会改革を盛り込んだ議会基本条例が制定された。

この間、様々な市民の声・意見等を尊重しつつ、鋭意、取り組まれた。議会

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(220字以内)



大村 仁美さん  
(山城町上狛)

## 母親10歳

私には娘が二人います。子育てをしていく中で、娘達が幼い頃から大切に生きてきた事の中に『会話』があります。

と目を見て会話するようになっていきます。すると、一日の事、感じた事、だいたいは理解できているように思います。それでも、子どもの世界では壁にぶつかる事や泣いたり怒ったり、そして笑ったり色々あるようです。2月、上の娘が10歳になりました。私も母親10歳です。成人するまで残り10年。私も娘と一緒にまだまだ勉強の日々です。

## お知らせ

次回定例会は改選のため未定です。



駒井 幸夫さん  
(木津神田)

## 我が町の誇り

我が町の集会所には三十以上のトロフィーが所狭しと飾棚に並んでいます。

すべてチーム競技で勝ち取ったもので、中には「綱引」といった予想だにでき

ない賞もあります。

町の人々は協調性と連帯感が強く、何事にも積極的に参加する気風が育まれていた証だと思えます。

今は、世に違わず高齢社会に向っており、今迄のように華やかな活動は難しくなってきましたが「みんなの力で明るい住みよい環境を作り育てましょう」を目標に、「観桜会」で絆を深め、毎月一斉掃除等継続して行い続けていることに大きな誇りを感じます。

## 編集後記

3月に東日本大震災が起こり、甚大な被害になりました。一日も早く復興される事を祈っております。

議会だよりもはや4年経過し、今回のメンバーでの編集は、最後となりました。

会派、党派を超えて、わかりやすい議会だよりを作るといふ一点で、団結して取り組んできました。だが、編集メンバーの意見では、限界があり、広く皆様のご意見も聞く方針で改善していきたいと思います。ご愛読いただき、大変ありがとうございました。これからもよろしくお願ひ致します。

(島野 均)

## 広報編集委員会

委員長 伊藤 紀味枝  
副委員長 出栗 伸幸  
委員 酒井 弘一  
高味 孝之  
呉羽 真弓  
宮嶋 良造  
阪本 明治  
島野 恵子  
村城 均子